浅茅が宿

上田秋成

妻（名）涙（名）を（格助（対象））とどめ（動（マ下二・連用））て（接助）、「一たび（名）離れ（動（ラ下二・連用））参らせ（補動（謙譲・連用））て（接助）のち、

たのむ（名）の（格助（体修））秋（名）より（格助（起点））先（名）に（格助（時間））、恐ろしき（形（シク・連体））世（名）の中（格助（結果））と（格助）なり（動（ラ四・連用））て、

里人（名）は（係助（区別））みな（名）家（名）を（格助（対象））捨て（動（タ下二・連用））て（接助）、海（名）に（格助（場所））漂ひ（動（ハ四・連用））、山（名）に（格助（場所））

隠れ（動（ラ四・已然））ば（接助（順・確定））、たまたまに（副）残り（動（ラ四・連用））たる（助動（完了・連体））人（名）は（係助（区別））、多く（形（ク・連用））虎狼（名）

の（格助（体修））心（名）あり（動（ラ変・連用））て（接助）、かく（副）寡（名）と（格助（結果））なり（動（ラ四・連用））し（助動（過去・連体））を（格助（対象））たより（名）

よし（形（ク・終止））と（格助（内容））や（係助（疑問））、言葉（名）を（格助（対象））巧み（動（マ四・連用））て（接助）いざなへ（動（八四・已然））ども（接助（逆・確定））、

玉（名）と（格助（比喩））砕け（動（カ下二・連用））ても（接助（逆・仮定））瓦（名）の（格助（比喩））全き（形（ク・連体））に（格助（対象））は（係助（強意））

ならは（動（八四・未然））じ（助動（打消意志・連体））ものを（終助（詠嘆））と（格助（内容））、幾たび（副）か（係助（疑問））辛苦（名）を（格助（対象））

忍び（動（バ上二・連用））ぬる（助動（完了・連体））。銀河（名）秋（名）を（格助（対象））告ぐれ（動（ガ下二・已然））ども（接助（逆・確定））、君（代名）は（係助（区別））

帰り（動（ラ四・連用））給は（補動（尊敬・未然））ず（助動（打消・終止））。冬（名）を（格助（対象））待ち（動（タ四・連用））、春（名）を（格助（対象））

迎へ（動（ハ下二・連用））て（接助）も（係助（強意））消息（名）なし（形（ク・終止））。今（名）は（係助（区別））京（名）に（格助（対象））上り（動（ラ四・連用））て（接助）

尋ね（動（ナ下二・連用））参らせ（補動（謙譲・未然））ん（助動（意志・終止））と（格助（引用））思ひ（動（八四・連用））しか（助動（過去・已然））

ど（接助（逆・確定））、丈夫（名）さへ（副助（類推））許さ（動（サ四・未然））ざる（助動（打消・連体））関（名）の（格助（体修））鎖し（動（サ四・連用））を（格助（対象））、いかで（副）

名　格助（主格）　動（ヤ下二・終止）　助動（可能・連体）　名　係助（強意）　動（ラ変・未然）　助動（打消推量・終止）
女　の　越ゆ　べき　道　も　あら　じ

格助（内容）　名　格助（体修）　動（タ四・連体）　接助（逆・確定）　形（ク・連体）　名　格助（場所）　名　名
と、　軒端　の　まつ　に　かひなき　宿　に、　狐・ふくろふ

格助（対象）　名　格助（結果）　動（サ変・連用）　接助　名　副助（限界）　係助（区別）　動（サ四・連用）
を　友　と　し　て、　今日　まで　は　過ごし

助動（完了・終止）　名　係助（区別）　形（ク・連体）　名　係助（強意）　副　動（ラ四・連用）　助動（完了・連体）
ぬ。　今　は　長き　恨み　も　晴れ晴れと　なり　ぬる

名　格助（主格）　形（シク・連用）　補動（丁寧・終止）　動（八四・連体）　格助（対象）　動（タ四・連体）　名　格助（時間）
こと　の、　うれしく　侍り。　哮ふ　を　待つ　間　に

動（ナ変・未然）　助動（仮定・連体）　係助（提示）　名　動（ラ四・未然）　助動（打消・連体）　名　助動（断定・連体）
恋ひ死な　ん　は、　人　知ら　ぬ　恨み　なる

助動（推量・終止）　格助（内容）　副　副　動（カ四・連体）　格助（対象）　名　係助（強意）　形（ク・連体）
べし。」　と、　また　よよと　泣く　を、　「夜　こそ　短き

接助（順・確定）　格助（引用）　動（マ下二・連用）　接助　副　動（サ四・連用）　助動（完了・終止）
に。」　と　言ひ慰め　て、　ともに　臥し　ぬ。

名　格助（体修）　名　名　格助（対象）　動（ラ四・連用）　接助　副　形（シク・連体）　格助（添加）　名
窓　の　紙　松風　を　啜り　て、　夜もすがら　涼しき　に、　途

格助（体修）　名　格助（原因）　動（ラ下二・連用）　形（ク・連用）　動（ナ下二・連用）　助動（完了・終止）　名
の　長手　に　労れ、　うまく　寝ね　たり。　五更

格助（体修）　名　動（カ四・連体）　名　形（ク・連体）　名　格助（場所）　係助（類推）　形動（ナリ・連用）　形（ク・連用）
の　天　明けゆく　ころ、　現なき　心　に　も　すずろに　寒かり

助動（過去・已然）　接助（順・確定）　名　動（カ四・未然）　助動（意志・終止）　格助（内容）　動（ラ四・連体）　名
けれ　ば、　衾　かづか　ん　と　探る　手

格助（対象）　名　助動（断定・連用）　係助（疑問）　副　名　動（サ変・連体）　接助（順・確定）
に、　何物　に　や、　さやさやと　音　する　に、

動（マ下二・連用）　助動（完了・終止）　名　格助（場所）　副　名　格助（主格）　動（ラ下二・連体）　格助（対象）
目覚め　ぬ。　顔　に　冷や冷やと　もの　の　こぼるる　を、

名　係助（疑問）　動（ラ四・連用）　助動（完了・連体）　係助（疑問）　格助（内容）　動（マ上一・已然）　接助（順・確定）
雨　や　漏り　ぬる　か　と　見れ　ば、

名 係助（区別） 名 格助（受身） 動（ラ四・未然） 助動（受身・連用） 接助 補動（ラ変・已然） 接助（順・確定）
屋根 は 風 に まくら れ て あれ ば、

名 格助（主格） 動（マ四・連用） 接助 動（ラ四・連用） 助動（存続・連体） 係助（強意） 動（ヤ下二・終止） 名
有明月 の 白み て 残り たる も 見ゆ。 家

係助（区別） 名 係助（強意） 動（ラ変・連体） 間助（並列） 形（ク・終止） 名 動（ラ下二・連用） 助動（存続・連体）
は 扉 も ある や なし。 簀器 朽ち發れ たる

名 格助（起点） 名 名 形（ク・連用） 動（ダ下二・連用） 接助 名 〈接頭〉 動（ラ下二・連体）
ひま より、 狡・薄 高く 生ひ出で て、 朝露 うちこぼるる

接助（順・確定） 名 動（ダ上二・連用） 接助 動（ラ四・終止） 副助（程度） 助動（断定・終止） 名 格助（場所）
に、 袖 ひぢ て しぼる ばかり なり。 壁 に

係助（区別） 名 名 動（ラ四・連用） 名 係助（区別） 名 格助（原因） 動（ラ下二・連用） 接助 名
は 蔦・呵 はひかかり、 庭 は 葎 に 埋もれ て、 秋

助動（断定・未然） 助動（打消・已然） 接助（逆・確定） 名〈接尾〉 助動（断定・連体） 名 助動（断定・連用）
なら ね ども 野ら なる 宿 なり

助動（詠嘆・終止）
けり。

副 係助（強意） 動（サ四・連用） 助動（完了・連体） 名 係助（提示） 代名 動（カ四・連用）
さて しも、 臥し たる 妻 は、 いづち 行き

助動（過去推量・連体） 動（ヤ下二・未然） 助動（打消・終止） 名 副助（例示） 格助（体修） 名 助動（断定・連用）
けん、 見え ず。 狐 など の しわざ に

係助（疑問） 格助（引用） 動（八四・已然） 接助（順・確定） 副 動（タ下二・連用） 助動（完了・已然）
や と 思へ ば、 かく 荒れ果て ぬれ

接助（逆・確定） 副 動（マ四・連用） 助動（過去・連体） 名 格助（比較） 動（八四・未然） 接助（打消）
ど、 もと 住み し 家 に たがは で、

形（ク・連用） 動（サ四・已然） 助動（過去・連体） 名 格助（起点） 名 格助（体修） 名 名 副助（限界）
広く 造りなせ し 奥わたり より、 端 の 方、 稲倉 まで、

動（マ四・連用） 助動（完了・連体） 名 格助（体修） 名 助動（断定・終止） 動（ラ下二・連用） 接助 名
好み たる まま の さま なり。 あきれ て 足

格助（体修） 名 副助（類推） 動（ラ下二・連用） 助動（完了・連体） 助動（状態・連用） 助動（過去・連体）
の 踏み所 さへ 忘れ たる やうなり し

接助（逆・確定）副 動（ハ四・連体）接助 名 係助（区別）副 動（ラ四・連用）接助 名 係助（区別）
が、 つらつら 思ふ に、 妻 は すでに 死り て、 今 は

名 格助（主格）動（ラ四・連用）接助 副 名〈接尾〉助動（断定・連体）名 格助（結果）動（ラ四・連用）
狐狸 の 住み替はり て、 かく 野ら なる 宿 と なり

助動（完了・已然）接助（順・確定）形（シク・連体）名 動（サ変・連用）接助 連体 名 格助（対象）
たれ ば、 あやしき 鬼の化 し て、 ありし 形 を

動（サ下二・連用）助動（完了・連体）助動（断定・連用）接助（補助）係助（強意）補動（ラ変・連体）
見せ つる に て ぞ ある

助動（推量・連体）副 副 代名 格助（対象）動（ハ四・連体）名 格助（主格）動（ラ四・連用）接助
べき。 もし また、 我 を 慕ふ 魂 の 帰り来たり て、

動（ラ四・連用）助動（完了・連体）名 係助（疑問）動（ハ四・連用）助動（過去・連体）名 格助（主格）副
かたり ぬる もの か。 思ひ し こと の つゆ

動（ハ四・未然）助動（打消・連用）助動（過去・連体）終助（詠嘆）格助（内容）副 名 副助（類推）
たがは ざり し よ と、 さらに 涙 さへ

動（ダ下二・未然）助動（打消・終止）代名 格助（体修）名 名 係助（区別）名 格助（体修）名
出で ず。 わ が 身 一つ は もと の 身

助動（断定・連用）接助（逆・確定）格助（内容）動（ラ四・連体）接助 名 名 助動（断定・連用）接助（補助）
に して と、 歩みめぐる に、 昔 閨房 に て

補動（ラ変・連用）助動（過去・連体）名 格助（体修）名 格助（対象）動（ハ四・連用）名 格助（対象）
あり し 所 の 簀子 を 払ひ、 土 を

動（マ四・連用）接助 名 格助（結果）動（サ変・連用）名 格助（対象）動（ガ四・連体）名 係助（添加）
積み て 塚 と し、 雨露 を 防ぐ まうけ も

動（ラ変・終止）名 格助（体修）名 係助（提示）代名 格助（起点）係助（疑問）格助（内容）形（シク・連用）
あり。 夜 の 霊 は ここもと より や と、 恐ろしく

係助（並列）副 形（シク・終止）
も かつ なつかし。